



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2911 URL <https://www.asahimatsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,815	△3.6	28	15.1	72	65.6	46	71.3
2025年3月期第1四半期	1,882	△2.3	24	280.8	44	87.8	27	106.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 74百万円(△23.1%) 2025年3月期第1四半期 96百万円(81.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第1四半期	円 銭 25.40	円 銭 —
2025年3月期第1四半期	14.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,186	8,275	80.5
2025年3月期	10,234	8,265	80.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 8,204百万円 2025年3月期 8,191百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	3.5	240	6.3	320	4.1	240	0.5	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	1,876,588株	2025年3月期	1,876,588株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	27,977株	2025年3月期	27,977株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	1,848,611株	2025年3月期1Q	1,841,682株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(表示方法の変更) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復傾向がみられた一方、円安基調により原材料価格は高止まっており物流費、人件費の更なる上昇なども相まった物価上昇により消費者の節約志向はますます高まっております。また、長期化するウクライナや中東での紛争に加え、中国経済の先行き懸念、米国の通商政策の影響など海外景気の下振れリスクなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、輸入原材料等の調達コストの高止まりや物流費、人件費などの上昇の影響から、価格改定を実施する企業は多く、消費者の節約意識も高まっております。また、食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも継続して増大しております。

このような状況のなか、当社グループでは継続して品質向上に取り組むとともに商品の付加価値向上や、その広報に努めております。製造原価の上昇は避けて通ることができませんが、収益面への影響を抑えるため引き続き合理化、省力化、経費削減施策を実施しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、前連結会計年度の価格改定の影響もあり、販売数量の減少がみられ、売上高は18億1千5百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。利益面では、原材料や人件費など、製造コスト等の上昇の影響はあるものの、引き続き合理化や諸経費の削減などを図ってまいりました結果、営業利益は2千8百万円（同15.1%増）、経常利益は7千2百万円（同65.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4千6百万円（同71.3%増）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

#### [凍豆腐]

凍豆腐では、業界のトップシェアの「新あさひ豆腐」のブランドサイトを立ち上げ、そのおいしさ、健康機能性での特徴、品質面でのこだわりなどの広報活動を行ってまいりました。これらの活動は農林水産省 近畿農政局 第2回『関西 食の「わ」プログラム』に認定されただけでなく、その中でも特に意欲的かつ活発な活動として表彰されました。また、「新あさひ豆腐」の特徴である減塩に関しては企業活動の好事例として厚生労働省・食環境戦略イニシアチブの減塩普及啓発資料に掲載されております。さらに大阪・関西万博での災害対策備品として、お湯を注ぐだけで食べられる簡単・便利なカップタイプの高野豆腐を協賛いたしました。しかしながら、過年度からの価格改定などの影響から販売数量が減少し、売上高は7億7千6百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

#### [加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、継続した単品収益管理の徹底により収益力の改善を図るとともに商品の改廃のスピードアップを図っております。当第1四半期連結累計期間については低価格品の競争激化により販売数量が減少し、売上高は5億3千6百万円（同2.9%減）となりました。

#### [その他食料品]

その他食料品では、医療用食材については、えん下困難者向けの調理済み・形態調整済み食品として豊富なメニューを取り揃え、病院・介護施設での厨房業務の省力化や標準化、人手不足の解消などに寄与しており堅調に推移しております。しかし、そのほかの部門におきまして、当第1四半期連結累計期間では減少傾向となり、売上高は5億1百万円（同1.8%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当社グループの資本の財源及び資金の流動性につきましては、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度に比べ4千7百万円減少し101億8千6百万円（前連結会計年度比0.5%減）となりました。これは、増加の要因として、棚卸資産の増加9千9百万円や、投資有価証券の時価評価などによる増加7千9百万円などがあったものの、減少の要因として、現金及び預金の減少3千4百万円や、季節的な変動要因が大きい売上高の減少に起因する売掛金の減少1億9千6百万円などがあったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度に比べ5千7百万円減少し19億1千1百万円（同2.9%減）となりました。これは、増加の要因として、支払方法の移行による電子記録債務の増加1億1千2百万円や、未払金の増加8千万円があったものの、減少の要因として、支払方法の移行による設備関係支払手形の減少8千9百万円や、賞与引当金の減少4千2百万円、返済に伴う長期借入金の減少4千5百万円などがあったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ9百万円増加し82億7千5百万円（同0.1%増）となりました。これは、配当金支払などによる利益剰余金の減少1千7百万円や、為替換算調整勘定の減少2千9百万円があったものの、その他投資有価証券評価差額金の増加6千万円があったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.5ポイント増加し80.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,098,381	2,064,060
売掛金	1,342,313	1,145,826
棚卸資産	1,535,843	1,635,627
その他	50,311	70,408
流動資産合計	5,026,849	4,915,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,096,001	6,101,025
減価償却累計額	△5,100,877	△5,114,760
建物及び構築物（純額）	995,123	986,264
機械装置及び運搬具	7,530,081	7,529,530
減価償却累計額	△6,266,890	△6,310,234
機械装置及び運搬具（純額）	1,263,191	1,219,295
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	210,905	151,979
減価償却累計額	△139,006	△87,765
リース資産（純額）	71,898	64,214
建設仮勘定	58,912	111,280
その他	487,188	496,157
減価償却累計額	△409,229	△411,904
その他（純額）	77,958	84,253
有形固定資産合計	4,170,658	4,168,882
無形固定資産	149,407	137,787
投資その他の資産		
投資有価証券	847,388	927,173
繰延税金資産	3,138	1,553
その他	36,967	35,654
投資その他の資産合計	887,494	964,381
固定資産合計	5,207,560	5,271,051
資産合計	10,234,410	10,186,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	432,734	336,050
電子記録債務	124,421	236,536
短期借入金	219,230	204,182
リース債務	30,801	28,835
未払金	196,305	276,755
未払法人税等	32,718	12,886
賞与引当金	62,626	20,050
設備関係支払手形	89,762	-
その他	122,905	154,928
流動負債合計	1,311,506	1,270,225
固定負債		
長期借入金	432,100	386,122
リース債務	49,728	42,971
長期末払金	31,620	31,897
繰延税金負債	87,863	124,561
資産除去債務	48,897	48,903
その他	6,900	6,900
固定負債合計	657,108	641,356
負債合計	1,968,615	1,911,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,633,518	1,633,518
利益剰余金	4,525,825	4,508,070
自己株式	△60,905	△60,905
株主資本合計	7,716,282	7,698,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,545	310,776
為替換算調整勘定	224,600	194,717
その他の包括利益累計額合計	475,145	505,493
非支配株主持分	74,366	71,370
純資産合計	8,265,795	8,275,391
負債純資産合計	10,234,410	10,186,973

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	1,882,208	1,815,195
売上原価	1,337,896	1,286,029
売上総利益	544,312	529,165
販売費及び一般管理費	519,478	500,588
営業利益	24,834	28,577
営業外収益		
受取利息	1,153	2,852
受取配当金	10,464	16,150
受取賃貸料	1,198	1,080
受取技術料	6,335	5,367
補助金収入	172	15,811
雑収入	3,025	5,147
営業外収益合計	22,349	46,409
営業外費用		
支払利息	823	1,152
為替差損	1,277	-
賃貸収入原価	842	669
雑損失	209	237
営業外費用合計	3,152	2,059
経常利益	44,031	72,927
特別利益		
固定資産売却益	2,199	-
特別利益合計	2,199	-
特別損失		
固定資産除却損	596	1,088
特別損失合計	596	1,088
税金等調整前四半期純利益	45,634	71,838
法人税、住民税及び事業税	5,570	4,808
法人税等調整額	12,231	19,759
法人税等合計	17,802	24,568
四半期純利益	27,831	47,270
非支配株主に帰属する四半期純利益	429	323
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,401	46,946



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	27,831	47,270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,741	60,230
為替換算調整勘定	43,077	△33,203
その他の包括利益合計	68,818	27,027
四半期包括利益	96,650	74,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,912	77,294
非支配株主に係る四半期包括利益	4,737	△2,996

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「補助金収入」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より、独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の「営業外収益」の「その他」に表示していた3,197千円は、「補助金収入」172千円、「その他」3,025千円と組替えております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	113,243千円	115,160千円